

(第 1 回)、最終) 契約変更の内容

契約変更年月日	令和7年12月17日
契約業者名	R 6 霞ヶ浦導水事業管理運用検討業務 水源地環境センター・建設技術研究所設計共同体
契約業者の住所	(株)建設技術研究所
業務の名称	R 6・R 7 霞ヶ浦導水事業効果検討業務
業務場所	霞ヶ浦導水工事事務所管内
業種区分	土木設計コンサルタント業務
業務概要	1. メッシュモデルによる水質予測検討 (増) 2. 導送水に伴う基礎データの整理・検討 (増) 3. 履行期間延長
履行期間 (自)	令和7年3月29日
履行期間 (至)	令和8年3月27日
変更前の契約金額	21,076,000円(税込)
変更金額	+12,892,000円(税込)
変更後の契約金額	33,968,000円(税込)
変更理由	<p>1. メッシュモデルによる水質予測検討 霞ヶ浦導水事業のメッシュモデルを用いた水質予測にあたっては、霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画の第8期の計画負荷量を用い、導水を行わないケース1と高崎沖に導水を行うケース2について検討を想定していたが、特記仕様書25条に基づき、ケース2については、仔アユの迷入対策などの実運用を踏まえ10月～11月の18時～8時および出水時に取水を行わない条件を加える。 また、ケース2に対し、利根川からの導水に伴う窒素、リン等の影響を評価するため、浄化導水を停止したケース3を追加する。 さらに、ケース2に対し、利根川からの導水に伴う窒素、リン等の影響を評価するため、導水に伴う霞ヶ浦の貯水量を変更したケース4を追加する。 以上のケース2～4について検討を行うため、本項目を変更(増)する。</p> <p>2. 導送水に伴う基礎データの整理・検討 霞ヶ浦導水事業の導送水量の算出にあたっては、これまで令和2年度までの那珂川・霞ヶ浦・利根川の流量等の水文データなどを用いていたが、茨城県が「霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画(第9期)」の策定を令和8年度に計画し、令和7年度までの水文データ等を使用することとしていることから、本業務の導送水量の算出においても、同期間に準じた基礎データを収集・整理し、算出条件の変更・検討を行うため、本項目を変更(増)する。</p> <p>3. 履行期間 本業務は、令和7年3月28日に契約締結(履行期間:令和7年12月26日まで)し現在履行中であるが、上記の検討が追加で必要となり、時間を要することから、本業務における履行期間を令和8年3月27日まで延伸する。</p>